

水と緑と古代ロマンの里



村君散策マップ



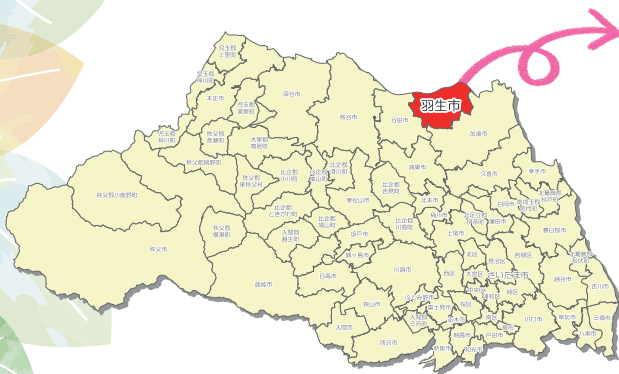
いがまんちゃん

～村君ってどんどころ～

* 文明 18 年（1486 年）、山城国（京都）^{しやうごうじん} 聖護院二十九代門跡となった道興^{どうこうじゅうこう}准向が村君の里を訪れた際に廻国雑記に詠まれた歌

たか世にか 浮れそめけん 朽はてぬ 其名もつらき むら君の里

* 村君（むら君）とは邑君で、もともと古代村落の長をさしたものとみられる



出典：『羽生市立郷土資料館所蔵』

《永明寺古墳(ようめいじふん)とそのまわり》

～村君には何があるの～

▶ 村君のお寺

村君地区には永明寺、延命寺、惣徳院、不動院があり、新義真言宗豊山派の寺院です。



① 永明寺 (下村君) 熊野山 (五台山) 薬師院と号します。

永明寺は、江戸時代の地誌である『新編武蔵風土記稿』によると、上野国光恩寺 (現群馬県千代田町) に属していました。江戸時代には延命寺 (堤) の末寺となりました。

境内には古墳時代に作られた「永明寺古墳 (前方後円墳)」があります。

* 永明寺石造仁王像

羽生市指定有形文化財：彫刻

延宝元年 (1673 年) 建立

口を開いている方が阿形 (あびょう) (186.7cm)

閉じている方が吽形 (うんぎょう) (190.0cm)



* 永明寺のイチヨウ

羽生市指定天然記念物

この樹は雌株

高さ 37.5m 周囲 4.85m 根回り 7.7m

樹齢は五百年を超えるものと思われます



② 延命寺 (堤) 不老山持寿院と号します。

延命寺は、応永年間 (1394～1427) に創建されました。慶安元年 (1648 年) に徳川 3 代将軍家光により寺領 15 石の御朱印を受け、近郷 48ヶ寺の本山でした。



③ 不動院 (名) 明王山と号します。

不動院は、慶安 2 年 (1649 年) に徳川 3 代将軍家光により寺領 12 石 6 斗の御朱印を受けました。



④ 惣徳院 (上村君) 竜王山観音寺と号します。

惣徳院は、承応 3 年 (1654 年) に僧の青善によって創建されたと伝わっています。



▶ 村君の神社



あにっち

⑤ 鷺神社（鷺宮神社）（下村君）Check!

鷺神社は、経江明神（鷺明神）社と横沼明神社の合社です。

経江明神社は村君大夫、横沼明神社は御諸別王（崇神天皇皇子のひ孫）の息女（娘）を祀ったといわれています。

加須市の樋遭川には御諸別王を祀る御室神社があり、明治時代末まで鷺宮神社から御室神社まで、櫛にかけた神鏡と飯台に入れた赤飯を馬の背に乗せて、神輿とともに渡御する「オカエリ」の行事が行われていました。

☞ 参考 ～村君にまつわる伝承・言い伝え～ 「おかえり」



⑥ 避来矢神社（上村君）Check!

避来矢神社は、上村君の鎮守で、平安時代の武将である

儀藤太秀郷（藤原秀郷）が祀られたといわれています。

社殿の裏には甲石と呼ばれるどこからか飛来したと伝わる大きな石があり、天文年中この甲石と日本武尊を併せ奉祀したものと伝えられ、地域の人の信仰の対象となっています。

☞ 参考 ～村君にまつわる伝承・言い伝え～ 「栃木邑から飛んできた甲石」



甲石



⑦ 雷電神社（上村君）Check!

雷電神社は、上村君村と下村君村が一つの村だった時代の鎮守といわれています。祭神は別雷命です。古くから落雷の多い土地であったことに由来しています。



⑧ 千万神社（堤）Check!

藤原秀郷の六男修理大夫は千万と呼ばれていました。

修理大夫の善政を称え、神社が建てられたといわれています。



⑨ 八幡神社（名）Check!

神社の祭神・由来は不明です。享保17年（1732年）以降各村を所領とした戸田出雲守がおり、天明8年（1788年）には戸田出雲守を祀られた生祠戸田宮が建立され、今も境内に残っています。

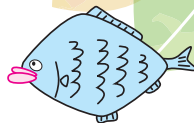


⑩ 常木神社（常木）Check!

上州大柴木郡佐貫之庄板倉之領過之村（現群馬県邑楽郡板倉町）へ承和年間（834～848）に勧請した雷電神社の神霊が永正元年（1504年）に常木の地に飛んできたことから、神社を建立したといわれています。



▶ 村君の古墳・遺跡 ▶



フナどん

* 村君古墳群

今から1500年から1400年ほど前、羽生市内には新郷・羽生・井泉・尾崎・村君に古墳群がありました。その中で村君古墳群には永明寺古墳や御廟塚古墳、稲荷塚古墳（村君公民館敷地内）があります。利根川沿いの川の氾濫による影響が少ない場所に、古墳や集落が形成されていました。



11 ようめいじ 永明寺古墳（下村君）  埼玉県指定史跡 ※御墳印あり…市民プラザ内で販売
村君古墳群の主墳といえる前方後円墳で、大きさは長さ約78m、高さ約7mになります。後円部からは武器や防具などの鉄製品、墳丘の周辺から埴輪が見つかっています。造られた時期は今から1500年ほど前の5世紀末から6世紀初頭と推測されます。現在、前方部墳頂には文殊堂、後円部墳頂には薬師堂があります。

古墳



文殊堂



薬師堂



ようめいじ 永明寺古墳の北側の利根川の堤防に階段が設けられ土手に上りやすくなりました。
利根川の流れとともに雄大な景色が広がりますので是非一度ご覧ください。



12 みびょうづか 御廟塚古墳（下村君） みびょうどう 御廟堂

前方後円墳ですが、大きさは不明です。現在は古墳の中央を北方用水（埼玉用水）で分断されています。前方部は残っていますが、後円部は壊されて残っていません。後円部をひこさしまおつ彦狭島王（崇神天皇皇子の孫、御諸別王の父親）、前方部を村君大夫の墓とする伝承があります。なお江戸時代には延命寺（堤）の末寺であったじょうじのいん成就院がありました。



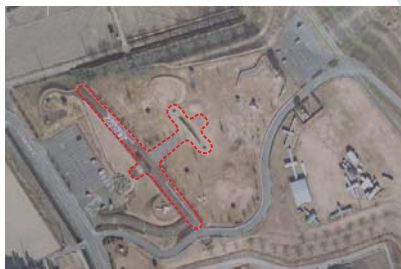


13 スカイスports公園（常木）

羽生スカイスports公園は利根川河川敷沿いに整備された公園で、シンボリックな遊具である大きなローラー滑り台に加え、ゴム製のつり橋やトランポリンが設置されており、楽しく遊ぶことができます。園内も芝生の広場になっており、レジャーシートを敷けばのんびりとくつろぐことができます。また、T-3 型初等練習機の実物が展示されており、操縦席も覗けるようになっています。春には満開の桜の下でお花見もできます。

河川敷にはグライダーの滑空場があるので、休日の晴れた日には雄大に空を飛行するグライダーを見られることがあります。

ちなみに公園内の通路は、上空から見ると、グライダーの形になっています。



14 かんのんどう 観音堂（下村君）

観音堂には庚申信仰に由来する庚申塔（1708 年造塔）があります。

* こうしん 庚申… かのえさる 庚申の晩に行った民間信仰の行事で 60 日に一回巡ってきました。

庚申塔には、しやうめんこんどう 青面金剛を主尊に下部に三猿の彫られたもの等があり、市内各所に建てられています。平安時代から始まり、江戸時代には農事の打合せや飲食の事など信仰による楽しみの晩ともなりました。



下村君（松の木）地区では、4月21日の大師様からはじまり、お釈迦様・地藏様・馬頭観音様・春祭りと年 5 回の行事が現在でも行われています。



▶村君の行事・イベント



村君あおぞら市場 in 永明寺（5月中旬…永明寺境内）

年に1回、5月の連休明けの日曜日に永明寺境内において開催され、地元有志によるイベントや多数の出店があります。



村君桜まつり（3月下旬～4月上旬…スカイスポーツ公園）

毎年3月下旬～4月上旬の2週間程度の期間、スカイスポーツ公園の桜をテーマにした写真・絵画・俳句等の作品を募集する形で実施されます。期間中、同公園には『村君桜まつり』のぼり旗を設置します。



上村君の獅子舞（7月中旬…避来矢神社） ※羽生市指定無形民俗文化財

戦国時代、羽生城の救援に出陣した上杉謙信が、将兵の士気を高めるため上野国からささら舞師を招き避来矢神社に奉納したのが起こりという伝承があります。

前・中・後獅子の三頭で構成され、天下泰平、村内安全、五穀豊穡を祈願して舞われます。

曲目にある「辻がかり」は悪病が来ないようにと村境で舞われるものです。



茅の輪くぐり・夏祭り

（7月下旬…避来矢神社、鷺宮神社、千方神社、八幡神社、常木神社）

村君地区内の各神社で無病息災を祈願して行われています。



ムジナモモ

～散策モデルコース～



いがもんちゃん

▷お散歩コース

P：駐車場あり T：トイレあり
【大型不可】

*西コース（2時間程度）

鷺宮神社 → 御廟堂 → 惣徳院 → 避来矢神社 → 雷電神社 → 観音堂
P (御廟塚古墳) P T P

*東コース（2時間程度）

鷺宮神社 → 永明寺 → 千方神社 → 延命寺 → 不動院 → 八幡神社 → 常木神社
P (永明寺古墳) P T P P

▷1日周遊コース（車）

鷺宮神社 → 永明寺古墳 → スカイスポーツ公園 → キヤッセ羽生 → 羽生水郷公園
P P P T P T <さいたま水族館> P T

*** 三田ヶ谷地区 ***

【注】村君地区にはコンビニを含めて商店がありませんので、お食事については
お隣三田ヶ谷地区のキヤッセ羽生や羽生PA（側道脇に駐車場あり）等をご利用ください。



ザリガニ博士

～村君にまつわる伝承・言い伝え～「羽生むかしがたり」より

『おかえり』

むかし、奈良の大仏様がつくられた頃のおはなしです。

ある春の日、立派な男の人が村君にたどり着き、小高い山の近くに家をつくって落ちつきました。人々は都からやって来たこの男の人に、何くれとなく世話をしました。この男の人も都の文化を人々に伝えたり、いろいろな事を教えました。そして、だんだん人々に敬われる様になり、邑を治める立派な人というわけで邑君大夫と呼ばれる様になりました。

邑君大夫は、永明寺や薬師堂をつくり人々の平和な生活を心から願いました。その頃の日本の国では、蝦夷（北海道）が乱れていましたが、東国（関東・東北地方）を治めた父のあとを継いだ御諸別王が征伐し、やっと平和になりました。そのため、東国の人々は御諸別王を尊敬し、百七歳でなくなるとお墓の上に御室神社（加須市樋遭川）をつくりお祀りしました。御諸別王には二人のお子様がいらいっやいました。奈良別彦命と姫様で、奈良別彦命は熊谷市奈良地方を治められ、姫様は村君村常木の豪族佐間氏が仲人となって邑君大夫と結婚しました。そして一年に一度十二月の初申の日に、樋遭川村の御諸別王の所へ里帰りなさいました。姫様がなくなられてからも里帰りは「おかえり」という村をあけてのお祭り行事となって明治四十四年（一九一）頃まで続けられていました。

この「おかえり」の日は邑君大夫と姫様の屋敷跡に建てられた鷲神社から、男女のみこ達にかつかれた御興と神鏡をつけた櫛を持った神主と、赤飯や酒、土産物を持った巫女が馬にのって午前五時頃出発し、仲人の佐間家にお土産の赤飯を届け、休みながら御諸別王を祀った御室神社へと向い、午前七時半頃ついたそうです。御室神社側でも喜んで迎えてくれ、御興等は社殿の中に入り、父君と姫様が対面している間、神官やお供の者達は別の館で手厚いもてなしをうけました。

村君へ帰る時になると、きまって馬達が帰りたいがらないので、樋遭川村の人々が竹や棒で馬をだいて追いかえたといわれています。今では「おかえり」の日は、鷲神社の祭日となっています。

『栃木邑から飛んできた甲石』

上村君地区のこの話は、今から千年以上もの古い話から始まります。

平将門は朝廷にむほんをおこし、下総国（千葉県北部及び茨城県の一部）の父の遺領地に帰りましたが、遺領地をめぐる一族の争がますますひどくなって大さわぎになりました。そして将門は勢力をのばして、武蔵国のお役人たちで困らせるなどの反乱をおこしたので、武勇にすぐれた藤原秀郷（伊藤太）と平貞盛の二人の武將は力を合わせて、朝敵将門を討伐しました。

武蔵国も下総国も平和になって、秀郷と貞盛の手がらは人々からほめたえられました。将門の乱を平定した秀郷は功績をみとめられて、武蔵国と下野国の二国の守に任せられ、東谷（羽生）に国府（役所）を開いて政治をとったといわれます。人々をさいなんから守り、やすらかに暮せるようにしてくれた秀郷は、神様のようにながめられました。

ところがそれから六百年もたったある日のこと、下野国（栃木県）栃木邑から、たまたみ一枚ほどもある大きな石が上堤根村（上村君）に飛んできたということで、村は上を下への大さわぎになりました。紫がかったこの石は形が「かぶ」とよく似た石です。「もしかししたら秀郷将軍が石になって村を守るために飛んできたんだべ」と里人たちはこの不思議な石をめくってワイワイガヤガヤ……

結局勇猛な秀郷の化身と信じ「ありがてえ、ありがてえ」「やたら人の目にふれたら神様にバチがあたる」と地表に少しおすがたを見せて地中に安置しました。

丁度その頃が戦に明け戦に暮れた戦乱の世だったので、秀郷が将門の乱を平定した時のようにと里人たちは甲石をご神体にして信仰しました。

秀郷が愛用した「遊来矢のよろい」は栃木県の唐沢神社の宝物になっているそうですが、上堤根村ではよろいの名をとって避来矢神社を建立し、秀郷を祀り、村の平和を祈りました。

館林城主、松平左近将監は（今から二百年位前）領内を巡行した折に、甲石を興味深く見ていかれたという記録があります。

MURAKIMI MAP



※明治6年（1873年）「村君学校」として開校以来151年の歴史を誇るなか、
惜しまれながら令和7年（2025年）3月末をもって閉校となりました。

※参考文献：羽生市史（羽生市役所）、永明寺古墳とその時代（羽生市教育委員会）、
羽生市の文化財（羽生市教育委員会）、羽生昔がたり合本、他

発 行：村君地区活性化対策協議会 2025 年 4 月
協 力：羽生市立郷土資料館
村君地区自治会 村君商工会 村君地区体育振興会
問合せ：村君地区活性化対策協議会事務局（村君公民館）



村君公民館